

～令和元年 9月議会を終えて～

前略

今年もいよいよ押し迫ってまいりました。

さて、去る9月議会にて下記項目で長崎市に対し、提言・質問致しましたので、概略をご報告致します。

ご一読頂ければ幸いです。

草々

質問内容

1. 人口減少対策について

- 1 家賃が安い街づくり
- 2 奨学金の返還支援
- 3 新しい産業の誘致と育成

2. 長崎みなとメディカルセンターの 今後のあり方について

3. 南北幹線道路について

次ページより、質問の趣旨と長崎市の回答、及び成果を報告致します。

※一般質問の様子を、You Tubeでご覧になれます。EX)「長崎市議会 一般質問 平野剛 令和元年」



1 人口減少対策について

人口推移予測

長崎市は、国(社人研)が予想した人口推移に対して、そこまで減少していかないよう、「長期人口ビジョン」を作成して、目標をもって人口減少対策に取り組んでいます。しかし、肌で感じる感覚では、その目標は達成するどころか『さらに悪化しているのでは?』と思われる数字をよく目にします。

そこで、

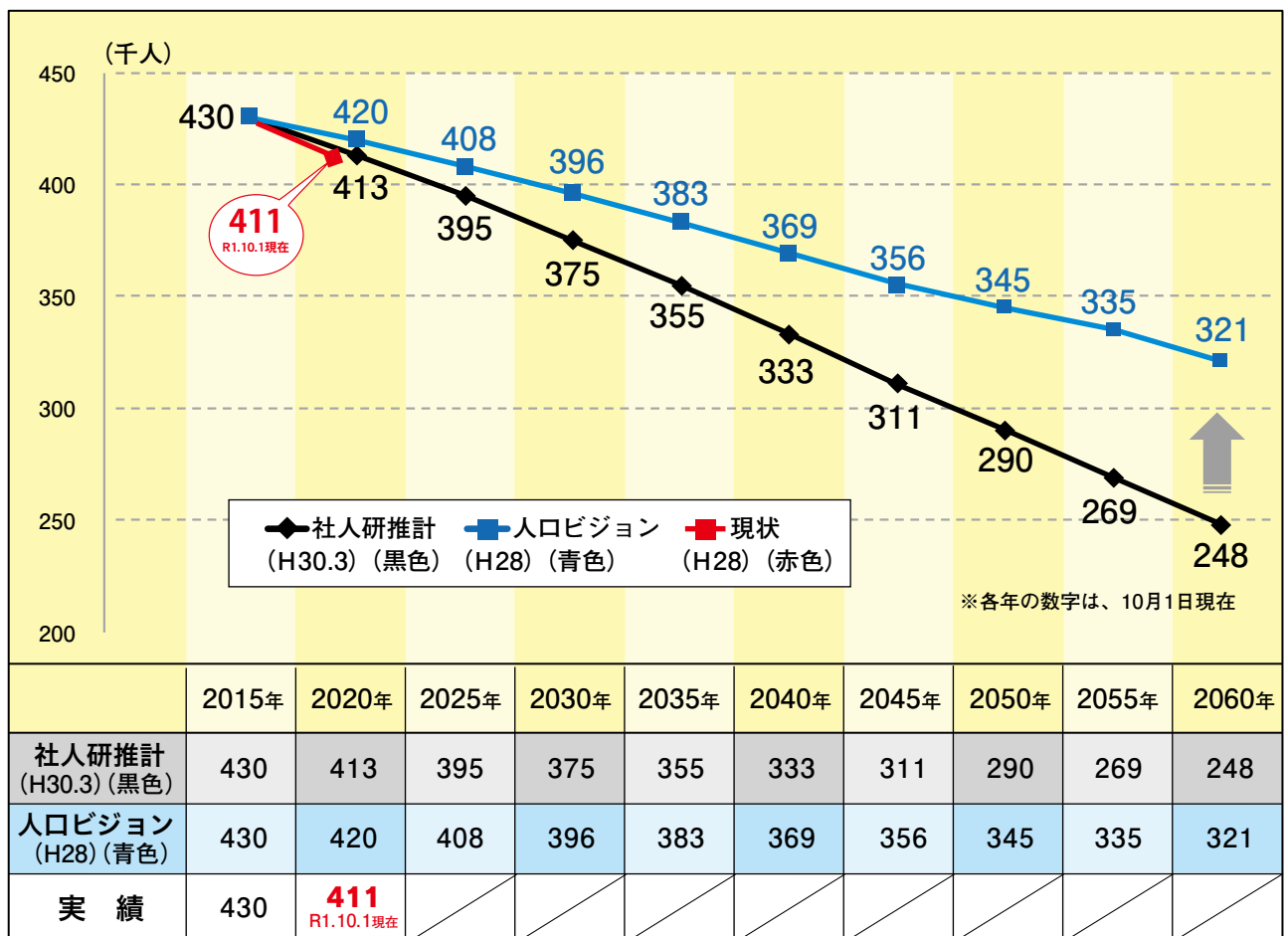
『直近の人口推移はどのような状況なのか?』

『そして、それに伴い今後の人口推移予測はどうなっているのか?』

をお尋ねしました。

出てきたグラフがこれです。

長崎市の人口展望

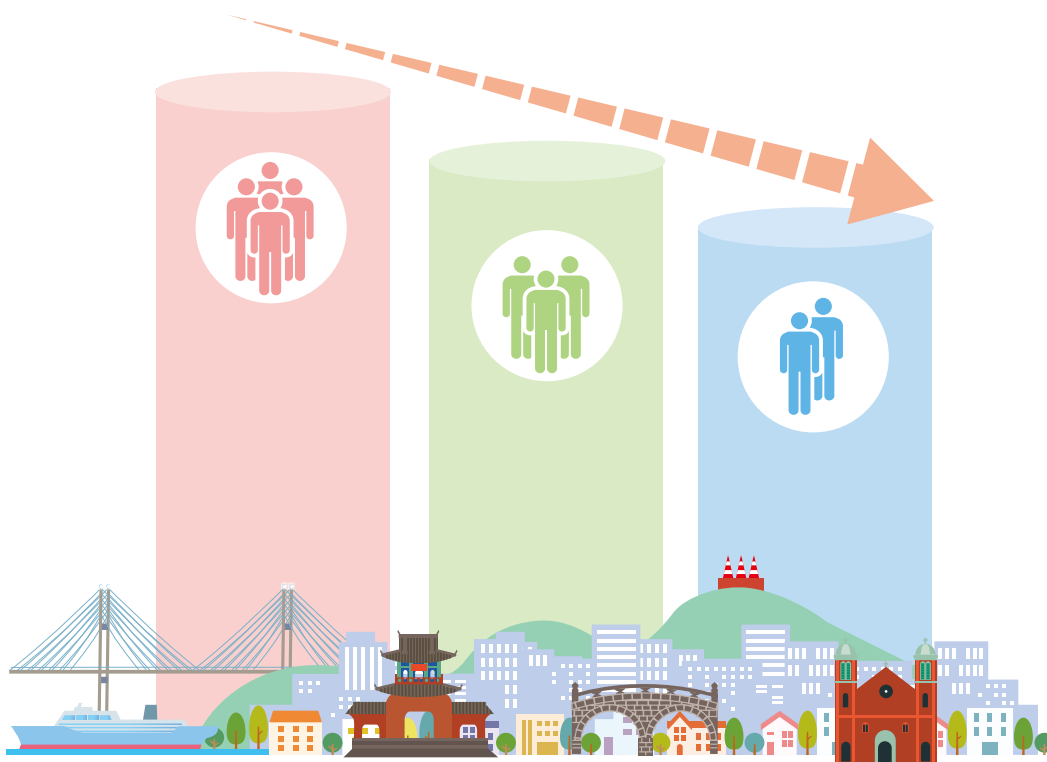


現在の状況は、

■令和元年の長崎市の人口予測 → **416,584** 人
 ■これに対する長崎市の目標 → **422,026** 人
 ■ 現 実 → **411,421** 人（令和元年 10/1 現在）

ご覧のように、

目標に対し約1万人も下回っており、**国の予測に対しても、**
既に約5000人上回る早さで人口減少が進んでいる実態が見てとれます。



人口減少対策は、何か一つやれば解消出来るという特効薬は決してなく、
様々な観点から取り組みを複合的に実施していかなばなりません、

この問題に対し、
 今回の議会では以下3点について提言致しました。

 次ページへ

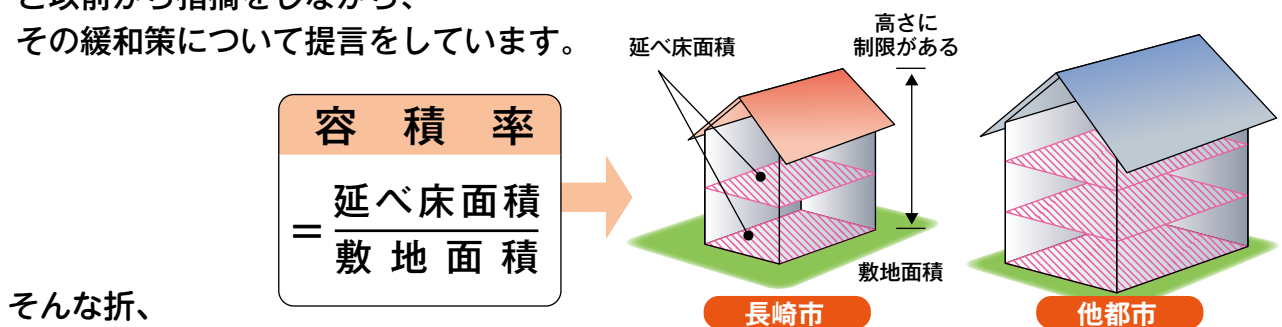
1. 家賃が安い街づくり

住み良い街を作っていく中で、所得水準が他都市より低い長崎市においては、生活コストも合わせて低くなければ、住み良い街にはならないかと思います。

しかしながら、
現状の住宅の販売価格や家賃は、人件費と建設資材が高騰していく中、
平地に住みたいというニーズも高まっており、
平地の住宅価格がどんどん上昇していつている状況にあります。

その要因に、
『**長崎市が定める、容積率と高さ制限にあるのでは？**』

と以前から指摘をしながら、
その緩和策について提言をしています。



「日銀の長崎支店から出されたレポート」を目にしました。

<2018年の消費者物価指数>

全国平均**0.9%**増に対し、長崎市の上昇は**1.9%**

↓
これがなんと驚く事に全国1位の上昇率。

この要因はたった1つ ↓

住宅価格の上昇。

●特にファミリー向けの賃貸住宅3LDK~4LDKの上昇が、
全国1位の上昇率になっている。

●地価も合わせて**7~8%上昇**

地方都市ではあり得ない現象とのレポートでした。

『平地に住みたい。』という強い市民のニーズに対し、
容積率や高さ制限によって供給を抑えられ、
その需給ギャップで価格が上昇しているようです。

『地方都市ではあり得ない現象』
とまで日銀に評されている現象を、長崎市はどう認識されておられるのか？
まずは、その点について認識をお尋ねしました。

長崎市の回答

日銀のレポートについては、拝見し認識をしている。

との事でしたので、
現在起こっている状況を踏まえ、
以下の観点から指摘及び提言致しました。



①人口流出という観点

他都市に住むより、
『絶対的に家賃が安い街を実現して頂きたい。』

②少子化対策の観点

例えば仮に、
2LDKで3,000万円
3LDKで4,000万円とした時、
「4,000万円は出せないから、3,000万円の2LDKにしよう。」
と2LDKを買った時点で、子供は一人しか入れません。

保育料や医療費を無料にしたりと、
あれこれ対策を打っても、

『実はこの時点ですでに、子供の数は確定してないのか？』
『高いローンを組んだせいで、子供の数に影響はしてないのか？』

『容積率と高さ制限の緩和策は少子化対策』
という観点でも考えるべき。

③民間の開発意欲への刺激策という観点

今、福岡市では、通称『天神ビッグバン』という再開発事業で、高さ制限を期間限定で緩和する事を行っています。

これが今、次々と投資が集まり、資金と人が集まっています。

先日、福岡市の高島市長の記者会見で、
『ビジネス環境がよくなり、プラスのスパイラルに入っている。』
とのコメントを目にしました。

**『民間の投資意欲・開発意欲を掻き立て、
長崎経済の内需を拡大する』という観点においても考えるべき。**

※容積率とは…敷地面積に対する建築延べ床面積の割合。

要は、土地に対し何階建てまで建てられるかに影響します。

9/7
長崎新聞より



新聞記事になりました

2. 奨学金の返還支援

『県外に出た学生が、長崎市に戻って就職した場合、
奨学金の返還支援をしてはどうか？』

との提言を続けています。

長崎市の回答

他都市で実施している所も出てきているが、まだ効果の検証がなされていない為、引き続き注視しながら検討を重ねる。

< 実情 >

- 県外の大学へ 4 年間行かせると 1,000 万円が掛かる。と言われています。
- 学生の半数以上が奨学金を利用し、その額平均 4 年間で 160 万円。
- 奨学金の返還が数百万円にのぼっている学生も少なくない。

奨学金は卒業とともにそれは借金。

奨学金の返済が、

- ➡ 結婚に影響している。
- ➡ 出産に影響している。
- ➡ 就職先の選択に影響している。
- ➡ 持ち家取得に影響している。

とのアンケート結果が出ています。

中には、

- 「結婚・出産などで配偶者に迷惑が掛かるのを負い目に感じる。」
- 「夫婦二人で返還している。出産はためらう。」

との声もありました。

**奨学金の返済が、未婚化・晩婚化・少子化に繋がっていないか？
返還支援を行う事で、帰って来る人財を増やせないか？**

そこで、

『日本一流出と減少が激しい街なのですから、
日本一の対策として、いち早く取り組むべきだ！』

と強く訴えましたが、
今後の検討という事で、まだ実現には至りませんでした。

3. 新しい産業の誘致・育成

世界トップレベルの感染症研究施設を長崎大学が建設をはじめ、2021年に完成します。

完成した暁には、まさに世界トップレベルの感染症研究の拠点として、国内はもとより、世界においても認知される存在になる事かと思えます。

そこで、

『長崎大学と国の関係機関と連携し、関連する医薬品企業を誘致し、この分野における最先端都市として、育成されてはいかがか？』

と提言致しました。

「世界トップレベルの感染症研究施設」が出来るのですから、これは活かしたいものです。

この施設が長崎に出来る理由に、

医学部内にある熱帯医学研究所が日本で一番の研究施設であった事。

感染症やウイルスの研究と言えば長崎大学。

もっと付け加えると、西洋医学発祥の地でもあります。

本物の実績や歴史裏付けされているものは、絶対的な強みがある。

と思います。

ここは、

『長崎の強みを活かし、「新たな産業の種の一つ」として、その芽を育てていって頂きたい。』

と強く市長に投げ掛けました。

長崎市の回答

市長より、チャレンジして取り組んでいきたいとの回答を頂きました。

ここは夢を持って大きく取り組んで頂ければと思います。

2 長崎みなとメディカルセンターの今後の在り方について

《513床のベッド数をほこる「長崎みなとメディカルセンター」の問題点》

人件費が掛かり過ぎて債務超過に陥っている。



解 消 策

債務超過を解消しようと売り上げを上げる。=患者数を増やす。



新たな問題

他の民間病院から患者を奪い競合相手となり民業圧迫となる。



結 果

他の病院の収支が悪化し地域の医療体制が崩壊していく恐れ。

なので、

売り上げを増やす=患者を増やし収支を好転させていく。

よりも、

ベッド数を減らす=人件費を減らす事で収支を好転させる。

という方向で考えるべきだと以前より意見していました。

そして何よりも、

医療費の増大を受け、国の方針として『**地域医療構想**』が示され、

ベッド数を削減していく考えが打ち出されております。

そんな折、

現在、4年に一回定める病院機構の経営方針を方向づける

中期目標が長崎市で作成中である為、今後のベッド数についての考え方についてと、

病床の機能分化についてお尋ねしました。

次ページへ

長崎市の回答

長崎みなとメディカルセンターの今後の在り方については、
ベッド数も含め検討していく。

また、地域の病院との役割分担についても地域医療構想に沿って、
その会議をしている「地域医療構想会議」での意見も踏まえ検討していく。

との回答を得られ、
一定方向性は理解して頂いた中で、地域の意見を聞きながら独自の経営を再検討していく
旨の方向性を得られました。



3 南北幹線道路について

南北幹線道路ってご存じですか？

長崎駅裏の浦上川沿いの道路の事で、現在は西洋館横から松山町の国道206号へジャンプ台のように出てきている道です。

この道路、実は、平成6年に佐世保まで1時間でつながる高規格道路(信号がないバイパスのような道路)として計画がなされましたが、

**これがようやく
動き出します。**

9/7
長崎新聞より



長崎南北幹線道路・西彼杵道路 概要図



10ページの新聞記事もご参照頂ければと思いますが、

長崎南北幹線道路と西彼杵道路が全区画開通すれば左の概要図のように長崎市から佐世保市までが繋がる地域高規格幹線道路となります。(片道1時間)
(※高規格幹線道路…長崎バイパスのようなイメージ)

長崎南北幹線道路と西彼杵道路はまず、

時津町～琴海(④整備区画 日並～井手園)が**令和4年完成予定**

琴海～滑石間の移動時間が大幅に短縮できます！

そしてついに

長崎市区画(⑤未整備区画 茂里町～時津町野田郷)の

ルート最終案が来年1月頃までに決定される予定です！

(西洋館裏から浦上川の上を、テニスコート裏、元陸上競技場裏、市民プール裏と抜け、トンネルを油木町方面の山から井出園まで掘るルートが有力なルートとなりそうです。)

詳しくは10ページの新聞記事をご覧ください。

このルートが
完成すると

浦上駅周辺から大橋・住吉・滑石・時津・琴海間の交通渋滞が緩和されます！

日々の渋滞によるイライラも解消されるうえ

緊急車両通行の時間短縮や災害時の通路の確保という観点からも有効な道路になることでしょう。

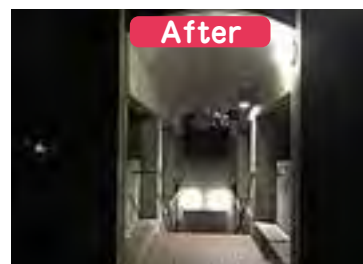
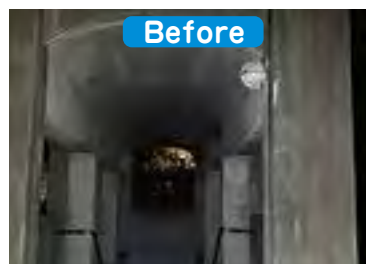
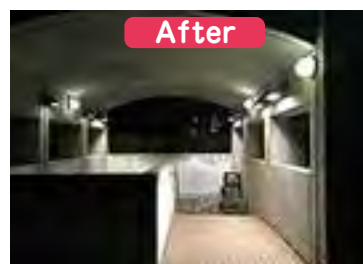
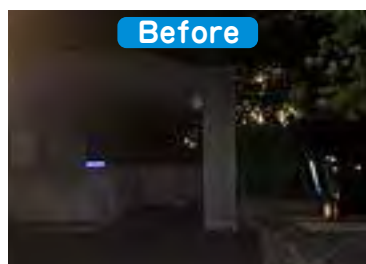
特に、**長崎市北部在住の皆さんにとってはこの道路の完成は非常に喜ばしいものになると思います。**

長崎市議会としても、長崎南北幹線道路の完成実現の為に一体となって長崎県や国に予算獲得を要望していきたいと思っています。

皆さんの声でこんな仕事もしています！

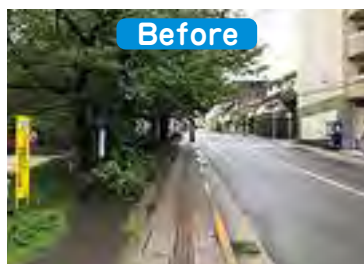
平和公園街灯の交換

『街灯が切れています。』とのご連絡。新しいのに交換してもらいました。



扇町公園の剪定

公園表の樹木は道路にせり出し、電線にも接触していました。公園裏は、後のマンションにせり出し迷惑をお掛けしていたので、剪定してもらいました。



山里小学校内の整備

学校内の老朽化箇所で、子供達が転んで怪我をしてはいけないので、整備してもらいました。



松山町道路

以前は裏道であったが、防空壕がある為、「さるくガイド」の案内など、多くの観光客が通る道に。歩道と側溝の整備とガードレールを綺麗にしてもらいました。



皆さんもお気づきな事がありましたら、お気軽にご用命くださいませ。

各種媒体でお伝えしています

いずれも「平野 剛」の検索で表示されます。
長崎や市政に関する情報を配信しておりますので
是非ご参照ください。

平野 剛 公式ホームページ

<http://hirano-tsuyoshi.net>

平野 剛 オフィシャルブログ

<http://ameblo.jp/hirano-tsuyoshi/>

平野 剛 facebook

<https://www.facebook.com/tsuyoshi.hirano.92>

今後とも長崎市の皆様のお役に立てるように
日々活動してまいります。

お住まいの地域や長崎市行政について
ご質問やご相談などございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

〒850-8685 長崎市桜町 2-35

長 崎 市 議 会 控 室

TEL.095-829-1405

FAX.095-822-0020